

Pickup!

県有建物に関わる 電気職

県有建物に付属する設備のうち、「電気設備」を取り扱う職種です。



私たち電気職の使命

電気設備を通して、県民の豊かで、ゆとりのある暮らしを守る！



県有建物の設計・工事監理

県有建物の新築や改修などに係る電気設備の設計及び工事監理

出雲警察署の新築や浜田養護学校高等部棟の増築など、毎年どこかで工事費数十億円というビックプロジェクトが動いています。建築職や機械職と連携して効率的で信頼性の高い電気設備を導入するため電気職も活躍しています。

また近年では、照明のLED化や、太陽光発電設備の導入など省エネへの対応も増えています。さらに今後は、2030年に開催される国民スポーツ大会に向けて、競技施設のナイター照明設備や電光掲示板の更新など電気設備をメインとするビッグプロジェクトも控えています。



工事現場で行われることは、はじめは分からないことだらけです。図面も読めないと。そんなことまったく気にする必要はありません。県は組織（チーム）で仕事をします。はじめは周りに聞きながら、教えてもらいながらが良いのです。必要な研修や現場見学会は様々用意されています。入ってから勉強し、経験を積めば仕事はやっていけます。

県有建物の保全・活用

ファシリティマネジメント※に基づく電気設備の維持管理

島根県は1人あたりの県有建物面積が全国トップクラスです。これは東西に長く、離島を抱える島根県の地理的特性から生じている特徴です。

これらの県有建物は作って終わりではなく、その後のメンテナンスがとても重要です。点検をし不具合があれば対応し、必要があれば改修工事を企画します。日々のメンテナンスは私たち電気職の重要な仕事です。



建物の長寿命化や、ライフサイクルコストを低減することは、私たち電気職の腕の見せどころです。保有する建物が多いということは、毎日の維持管理コストは相当なものです。これを少しでも削減することができれば、県民生活にも、県財政にもとても良い影響をあたえます。

島根県の電気職は、県有のすべての建物の建設から運用まで長く関わる、重要な仕事を担っています。

※点検や財産の貸付など、運用を含めた財産管理



数字でみる「電気職」(R6.4.1時点)

■職員数

➤ 電気技術職員数 11名
(うち30歳代以下 6名)

■有資格者数

➤ 建築設備士 4名
➤ 第三種電気主任技術者 5名

職員採用にかかる
最新情報はこちら

